



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 近畿車輛株式会社

上場取引所 東

コード番号 7122 URL <http://www.kinkisharyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡根 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益田 浩

TEL 06-6746-5231

四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	29,815	59.6	3,084		3,241		3,484	
29年3月期第2四半期	18,686	14.4	11,526		11,940		11,949	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,393百万円 (%) 29年3月期第2四半期 14,294百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	506.24	
29年3月期第2四半期	1,735.99	

平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	74,601	19,951	26.7	2,898.73
29年3月期	72,648	16,558	22.8	2,405.68

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 19,951百万円 29年3月期 16,558百万円

平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	29.5	1,000		600		2,000		290.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	6,908,359 株	29年3月期	6,908,359 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	25,472 株	29年3月期	25,296 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	6,882,986 株	29年3月期2Q	6,883,641 株

平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7
3. その他	P. 9
生産、受注及び販売の状況	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復を続けていますが、米国の経済政策運営や英国のEU離脱交渉の影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況のうちに推移しました。こうした状況の中で、当第2四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）における業績は、売上高が298億1千5百万円（前第2四半期連結累計期間売上高186億8千6百万円）と前年同期に比べ111億2千9百万円の増加となり、営業利益は30億8千4百万円（前第2四半期連結累計期間営業損失115億2千6百万円）、経常利益は32億4千1百万円（前第2四半期連結累計期間経常損失119億4千万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億8千4百万円（前第2四半期連結累計期間親会社株主に帰属する四半期純損失119億4千9百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鉄道車両関連事業

国内向車両の東京地下鉄株式会社向電車、海外向車両のロサンゼルス郡都市交通局向電車等により、売上高は294億1千9百万円（前第2四半期連結累計期間売上高182億8千6百万円）となり、営業利益は31億9千7百万円（前第2四半期連結累計期間営業損失113億5千4百万円）となりました。

②不動産賃貸事業

東大阪商業施設及び所沢商業施設を中心に売上高は3億9千6百万円（前第2四半期連結累計期間売上高3億9千9百万円）となり、営業利益は3億4千4百万円（前第2四半期連結累計期間営業利益3億4千6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、746億1百万円（前連結会計年度末726億4千8百万円）と19億5千2百万円の増加となりました。流動資産は主に受取手形及び売掛金の増加により、514億1千万円（前連結会計年度末494億円）と20億1千万円の増加となりました。固定資産は231億9千万円（前連結会計年度末232億4千8百万円）と5千7百万円の減少となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、546億4千9百万円（前連結会計年度末560億9千万円）と14億4千万円の減少となりました。流動負債は主に短期借入金が増加したものの前受金及び受注損失引当金の減少により、386億1千万円（前連結会計年度末396億5千万円）と10億3千9百万円の減少となりました。固定負債は160億3千9百万円（前連結会計年度末164億4千万円）と4億円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、199億5千1百万円（前連結会計年度末165億5千8百万円）と33億9千3百万円の増加となりました。その主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,990	4,366
受取手形及び売掛金	17,374	19,588
仕掛品	23,986	24,461
原材料及び貯蔵品	779	730
その他	3,285	2,279
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	49,400	51,410
固定資産		
有形固定資産	14,430	13,855
無形固定資産	90	72
投資その他の資産		
投資有価証券	8,147	8,809
その他	595	467
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	8,727	9,263
固定資産合計	23,248	23,190
資産合計	72,648	74,601

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,485	9,932
短期借入金	5,824	12,293
1年内返済予定の長期借入金	1,091	1,075
未払法人税等	80	61
前受金	5,200	1,480
賞与引当金	258	307
製品保証引当金	758	730
受注損失引当金	14,407	10,318
その他	3,543	2,409
流動負債合計	39,650	38,610
固定負債		
長期借入金	10,515	9,944
退職給付に係る負債	2,489	2,530
その他	3,434	3,564
固定負債合計	16,440	16,039
負債合計	56,090	54,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,252	5,252
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	3,816	7,300
自己株式	△102	△102
株主資本合計	12,091	15,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,254	3,714
繰延ヘッジ損益	130	72
為替換算調整勘定	1,370	840
退職給付に係る調整累計額	△288	△251
その他の包括利益累計額合計	4,466	4,376
純資産合計	16,558	19,951
負債純資産合計	72,648	74,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,686	29,815
売上原価	28,754	25,161
売上総利益又は売上総損失(△)	△10,068	4,654
販売費及び一般管理費	1,458	1,570
営業利益又は営業損失(△)	△11,526	3,084
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	64	212
為替差益	-	44
雑収入	32	51
営業外収益合計	98	308
営業外費用		
支払利息	65	139
為替差損	325	-
雑支出	121	11
営業外費用合計	512	151
経常利益又は経常損失(△)	△11,940	3,241
特別利益		
固定資産売却益	-	203
特別利益合計	-	203
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,940	3,445
法人税、住民税及び事業税	11	20
法人税等還付税額	△65	-
法人税等調整額	64	△59
法人税等合計	9	△38
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,949	3,484
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,949	3,484

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,949	3,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△579	459
繰延ヘッジ損益	△132	△57
為替換算調整勘定	△1,671	△530
退職給付に係る調整額	39	37
その他の包括利益合計	△2,344	△90
四半期包括利益	△14,294	3,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,294	3,393
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	鉄道車両 関連事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,286	399	18,686	—	18,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	18,286	400	18,686	△0	18,686
セグメント利益又は損失(△)	△11,354	346	△11,007	△519	△11,526

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△519百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△519百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アメリカ	中東・アフリカ	アジア	合計
6,622	10,490	401	1,172	18,686

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 中東・アフリカ……カタール国、アラブ首長国連邦、エジプト・アラブ共和国

(2) アジア……中華人民共和国(香港)

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	鉄道車両 関連事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,419	396	29,815	—	29,815
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	29,419	397	29,816	△0	29,815
セグメント利益	3,197	344	3,542	△457	3,084

(注) 1 セグメント利益の調整額△457百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△457百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アメリカ	中東・アフリカ	アジア	合計
8,505	12,245	5,780	3,285	29,815

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 中東・アフリカ……カタール国、アラブ首長国連邦、エジプト・アラブ共和国

(2) アジア……中華人民共和国(香港)、フィリピン共和国

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	29,669	155.4
合計	29,669	155.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	2,581	29.7	120,646	76.8
合計	2,581	29.7	120,646	76.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	29,419	160.9
不動産賃貸事業	396	99.2
合計	29,815	159.6

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上